

会議の概要(要旨)

1	会 議 名	平成23年度 第1回習志野市公営企業運営協議会
2	開 催 日 時	平成23年5月23日(月) 午後2時
3	開 催 場 所	習志野市企業局 新館3階 DE 会議室
4	議 題 及 び 会議の概要	<p>1. 議題</p> <p style="text-align: center;">平成23年度習志野市公営企業会計予算の取り組み状況について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>会議の概要</p> <p>「平成23年度習志野市公営企業会計予算の取り組み状況について」 説明</p> <p>質疑応答</p> <p>(委 員)Q1. <u>職員技術研修についてお聞きします。工務部の方々、いろいろな資格を取っておられて御立派だと思っておりますが、資格習得についてはどのような目標でやっておられるのですか？</u></p> <p>(事務局)A1. ガス事業をやっていく上で、ガス主任技術者やその他の資格は必要不可欠であります。そのため、若い職員を中心にどんどん講習を受け資格を取ってもらい、今後のガス事業に活用して行きたいと考えております。このような趣旨がございますので、企業局が主催して資格取得の勉強会も開いております。</p> <p>また、建設機械の操作など技術面の習得についても、有事の際、経験があった方が良いという考えのもと継承などをしております。</p> <p>(委 員)Q2. <u>営業の推進についてですが、戸建ての方に対しても行っているのですか？</u></p> <p>(事務局)A2. マンションについても戸建てについても営業をしております。特にJR津田沼駅南口の開発地区については、習志野市の玄関口という思いがありますので、営業には力を入れております。今ちょうどガス高効率給湯器の補助をしておりますのでその点のPRや、床暖房・浴室乾燥・ミストサウナといったものが、環境・体にやさしいですよといったアピールをしてガスを採用していただけるよう取り組んでおります。</p>

2. 報告事項

東日本大震災によるガス・水道の被害状況について

会議の概要

「東日本大震災によるガス。水道の被害状況について」説明

質疑応答

(委員)Q3. 水道に関するご説明の中で、国道 14 号より南側の地域の説明がなされませんでした。県営水道の給水エリアだからでしょうか？ 保育所などに給水車が言ったのはサービスで行ったのでしょうか？

(事務局)A3. 私どもは震災当時、市内のガスの供給、また市営水道給水エリア内の赤水・漏水についての対応に追われてしまい、市職員としての対応、いわゆる市全域に対するマンパワーが発揮出来なかった部分がございます。

その一方で企業局にあります、外線に対応する20本の電話の内、大半が県営水道さん・東京電力さんに関するものでした。これは、同じ公益企業であります習志野市企業局は電話が通じるので、少しでもライフラインに関する情報を得たいとお電話でしたので、分かる範囲のお答えをさせていただきました。

企業局の供給エリアに対する対応が落ち着いてきた中で、袖ヶ浦団地周辺が水について困窮しているという要望がありましたので、先程ご説明させていただいたように給水車 2 台で応急給水を行いました。

(委員)Q4. まず、習志野市南側のガス供給を行っているなかで被害が非常に少ないことに感心しました。これは前もってガスパイプの入れ替えを計画的に進めていたことが功を奏しましたね。

質問です。まずマイコンメーターについてですが、説明書を見た時に震度5位で自動的に止まるから安全ですよと
いうように書かれていましたが、私の家は止まりませんでした。資料で見ましてもマイコンメーターでの出動件数が少ないようですが、製品に対する不安はないのですか？

もう一点、新潟の地震の時は応援部隊を派遣し大変活躍されておりましたが、今回企業局として派遣が無かったようです。あまり余裕が無かったのでしょうか。

以上2点お聞きいたします。

(事務局)A4. まず、災害派遣についてお答えします。

災害派遣は日本ガス協会からの派遣要請のもと出動しております。実は企業局としましてもガスの閉開栓の応援のため、6名の出動体制を整えておりました。しかし、先発で東京ガスさん・太多喜ガスさんが現地へ入り応急復旧にあたったところ、津波の関係で私どもが閉開栓・復旧をすべき対象が流された、あるいは壊されてしまい、復旧が出来ない状況だということで、日本ガス協会から応援要請がなされなかった現状がございます。

次に、マイコンメーターについてお答えいたします。

震度5で止まるということですが、止まることは間違いありません。しかしガスを使用している時だけです。時間帯を考えましても委員さんのご家庭ではガスをご使用になっていなかったのではないのでしょうか。また、ガスが流れている時に止まるようになったのは7、8年前からでして、おそらく今回作動したものはそれ以前の古いタイプのもので使用中のマイコンだけであると考えております。ちなみに、マイコンメーターは地域ごとに10年に一度企業局の負担で取り替えております。まだ古いマイコンメーターをご使用のお客さまにつきましても、あと3年以内に新しいものにお取り替え出来る予定であります。

(委員)Q5. 今回、初めてあんなに恐ろしい津波を見ました。習志野市は液状化の被害が主で、津波の影響はありませんでしたが、習志野市も海に面しておりますので、これからの災害対策として津波の対策を講じないといけないのではいかと感じました。

(事務局)A5. ご提案ありがとうございます。

仙台市も公営でガス事業をしておりますが、LNG基地が壊滅的な被害を受けたという状況がございます。

委員さんご指摘のとおり企業局も重要な施設が海に近い

		<p>所にございますので、今回の教訓を生かして、また習志野市の災害対策本と連携しながら、対応していきたいと考えております。</p> <p>しかし、悠長な事といわれる場面もあるかと思いますが、低廉な料金を維持していく必要もございますので、料金に過度な影響を与えないような範疇で、防災に対しての設備投資をしてみたいと考えております。</p> <p>(委員)Q6. <u>先程電話対応の話が出ましたが、今回以上の大災害が起きた時に今の人員だけでは電話対応だけで振り回されてしまうのではないですか？有事の際の電話対応の入り口だけでも何か考えなくてはいけないのでしょうか？</u></p> <p>(事務局)A6. ご提案ありがとうございます。今回以上の大震災が起きた場合、より多くの電話のお問合せ、その他いろいろな連絡があるかと思えます。そういった部分も今後対応が出来るよう考えてまいります。</p>
5	お問い合わせ先	<p>所管課名：習志野市企業局 業務部総務課</p> <p>電話番号：047-(475)-3321</p>